



こんにちは 県議会議員・日本共産党

藤井かつひこ (克彦) です

日本共産党議員控室 TEL 045-210-7882

(神奈川県庁新庁舎7階) FAX 045-210-8932

自宅：相模原市南区旭町15-36-407

TEL・FAX 042-748-6388

携帯 090-2470-8471 Eメール yfe18113@nifty.com

◇相談事やご意見ご要望などお気軽にお寄せ下さい



県立学校の入学式等に参加して



今年も市内いくつかの県立学校での卒業式・入学式に参加し、生徒たちの姿や学校生活にふれることができました。“十五の春は泣かせない”と県立高校が増設された歴史、大切な成長期にある生徒を預かる県として教育条件を整備する責任、それらの重要性を改めて確認した思いです。

■麻溝台高校 (南区北里1丁目) 卒業式 3月1日



3年間の充実した学校生活を振り返る映像(※)と生徒のコメント。式が終わり、会場からクラスごとに退場する時、生徒たちが担任の先生に「ありがとう」と思い思いに大声で挨拶をして退場していく姿に、来賓席には涙が…。

(※) 盛り上がる体育祭で生徒たちがグラウンドで埃まみれになっている光景を目にしました。

散水するためのスプリンクラー(下写真)が十分機能していないことをきいており、県に対応を求めています。



グラウンドの周囲にスプリンクラーが設置されているものの、水がグラウンド中央部まで届かない

■相模原養護学校 (南区当麻) 入学式

[PTA会長の祝辞 4月5日]

子どもは必ず成長する。1日、1週間、1ヶ月、3ヶ月で気づかない変化・成長も、3年間という期間で見れば確実に成長していることがわかる。結果をあせらずに、長い目で成長を見守ってほしい。

■相模原青陵高校 (南区新磯野) 4月6日 最後の入学生のための最後の入学式

県立高校改革で統廃合されるため、2018年の募集はおこなわれない。2017年の入学生が最後の入学生となる。

[新入生代表の言葉]

最後だからと言って、人数が少ないからと言って、あきらめることなく、「相模原青陵高校をなくさなければよかった」と思わせるような高校生活をおくりたい。



■神奈川総合産業高校・定時制 (南区文京1丁目) 入学式 4月6日

[校長の祝辞]

イソップ寓話「牡鹿とライオン」を紹介して、「自慢することではなく、自分の長所を見つけるように」とアドバイス。

県立こども医療センターを視察

4月11日(火)、日本共産党県議団として、横浜市南区六ツ川にある『県立こども医療センター』を視察しました。

こども専門病院(329床)と障がい児入所施設(90床)からなり、生まれた時から重い障がいを持つ子など、病気や障がいのあるこどもたちのための総合医療・福祉施設です。入院・入所中のこどもたちが



通学する県立横浜南養護学校が、センター内にあります。

妊婦の高齢化や過剰なダイエットの出産への影響などから、近年、施設の需要が高まっており、増床整備を予定している。全国的にも稀少な施設で、最近も「この施設で治療を受けたい」と奄美大島から患者が訪れた、とのことでした。

こうした専門性の高いサービスを広域的な拠点として担う県の役割の重要性を感じ、いっそうの拡充を求めていきたいと思いました。



住民の生活を壊すリニア新幹線

4月14日(金)、田所健太郎相模原市議と、相模原市緑区青山(旧津久井町)のAさん宅(右写真)を訪問し、お話をうかがいました。

この3月、リニア中央新幹線の車両基地(緑区鳥屋)への引き込み線(地下トンネル)の非常口をつくりたいから測量させてほしい」と、JR東海社員が神奈川県職員とともに来訪。畑の部分(右写真・青い倉庫の後ろ側)を使いたいというが、自宅(右写真・左側)での生活に影響必至。80歳を超えた老夫婦が畑作業をして自給自足で静かな暮らしを営んできたのに。

相模川以西のエリアは、用地交渉を神奈川県がJR東海から受託して行います。公共事業に



協力を求める形の用地交渉ですが、このリニア中央新幹線の建設には、公共性も社会的な大義もありません。日本共産党は建設中止を求めています。

